ヴィクトリア朝の性

稗田東夷人

この作品はR18描写を含むため、18歳未満の方は閲覧禁止です。

HinaProject Inc.

注意事項

このPDFファイルは小説家になろうグループサイトで掲載中の作品をPDF化したものです。

このPDFファイルおよび作品の取り扱いについては、小説家になろう利用規約が適用されます。そのため、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止いたします。作品の紹介や個人用途での印刷および保存にはご自由にお使いください。

【作品タイトル】

ヴィクトリア朝の性

【Nコード】

N3908E

【作者名】

稗田東夷人

【あらすじ】

『超短編小説企画参加作品』。学校といえば体罰がセットだったころ、オナニーしないようにアレを切ってしまえというトンデモを名のある学者まで真顔で言ってたのは本当のことです。

熱消毒のトレーの器具は先のとがったピンセットと、やはり先端が細くなった長い鋏やメスだった。熱い蒸気で蒸されたばかりのそれらの器具はまだ熱く、手袋なしでは持てないくらいだった。カーター先生が叱責の言葉をヘンリエッタにかけながら、ピンセットで彼女のクリトリスをつまんだとき、それがこのいたいけな娘を責めさいなむ中世の拷問器具に見えた。ピンセットの先端が触れた瞬間に、下半身をむき出しにして上級生に押さえつけられているヘンリエッタの体がびくりと痙攣して、私は心臓が止まる思いだった。

この唇の薄い女の先生は君らが痛いのと同じくらいに、これをやる自分の胸も痛いのだというのが口癖だったが、体罰専門の先生だった。自慰はヒステリーのもとというのが彼女の信条で、根本的な解決はクリトリスの切除しかないという、王立アカデミーに籍がある医学者の説を信奉していた。そんな理由をつけて、カーター先生は寄宿舎の寝室を抜き打ち検査しては、軍医の夫から仕入れた少女を性から遠ざける方法を試す相手を探していた。

私は目をつぶって耳をふさぎ、ヘンリエッタの泣き叫ぶ声を聞かないようにした。そしてついに私の番が来た。クリトリスの根元にメスがあたったとき早くも悲鳴を上げてしまったが、本当の地獄はクリトリスの周りにぐるりと切込みが入れられてからだった。クリトリスがピンセットで引っ張られ、体の中に埋もれていた神経の根が引きずり出されたとき、私は苦痛のあまりここで死ぬのだとさえ思った。根元で二股に分かれた神経の片方が切断されたとき、私は半狂乱になって泣き叫んでいた。もう片方に鋏が当てられ、それが切り離されたとき、私は失神した。